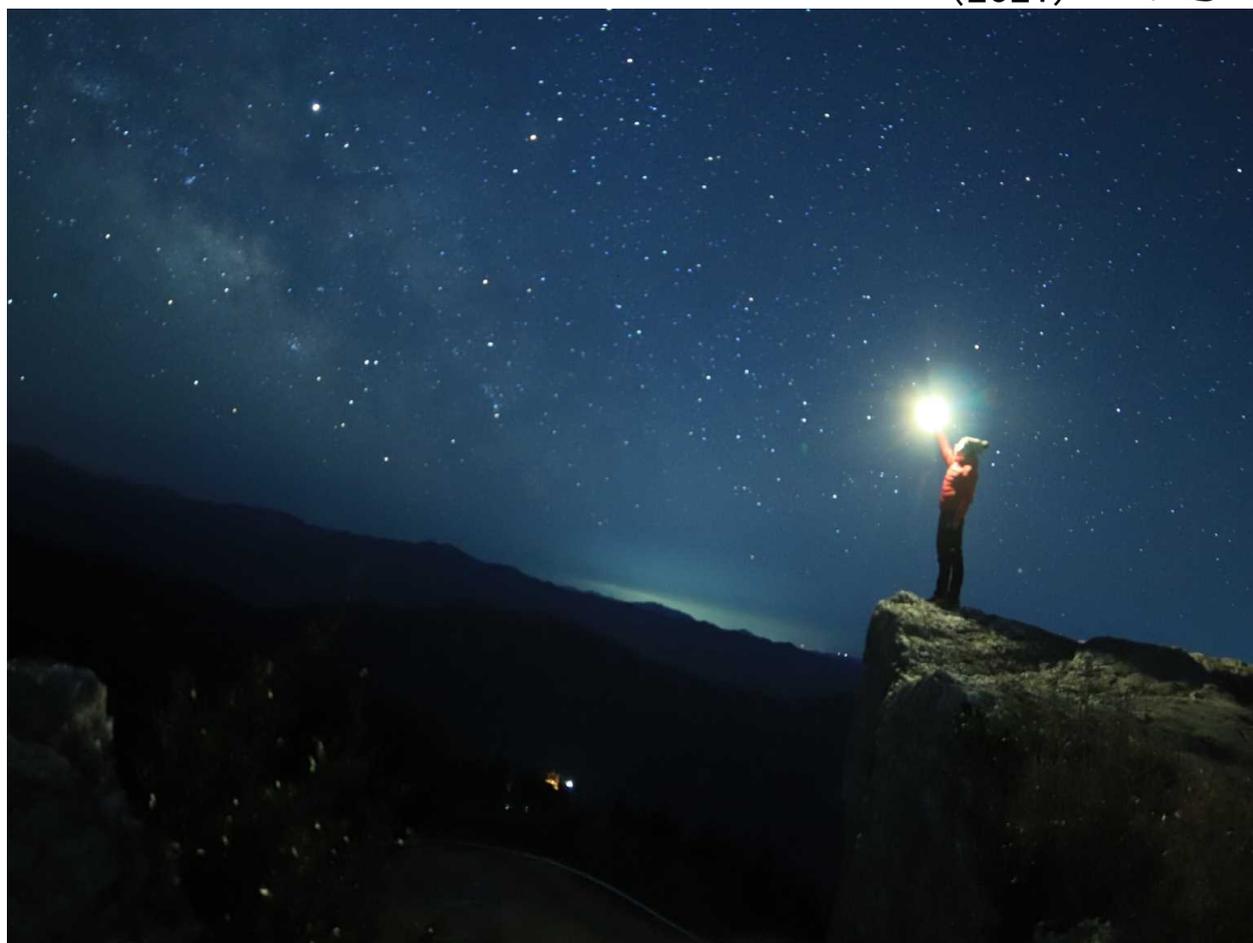


和歌山だよいい

令和3年
(2021) 8月号



生石高原 (紀美野町、有田川町)

紀美野町と有田川町との境界に広がる「生石高原」は、関西随一のスキの名所として有名ですが、美しい星空や夜景を見ることができるスポットとしても有名です。標高は870mと高く、山頂では360度の大パノラマを満喫することができます。

(写真提供: 公益社団法人和歌山県観光連盟)

CONTENTS

1. 知事メッセージ…………… P1
2. 和歌山県政トピックス… P2~P12
3. お知らせ…………… P13~P15
4. ふるさと歳時記…………… P16~P18



若者よ、様々な分野に関心を持とう

オリンピックが感動のうちに終わりました。メダルを取る取らぬにかかわらず、アスリートが全力を尽くす姿に感動しました。とりわけ、10代の中高生の選手の活躍も目を引きました。また、甲子園での高校野球も今年は開催され、長い、きつい練習を積み重ねてきた選手達の熱闘が繰り広げられました。和歌山では紀の国わかやま総文 2021（全国高等学校総合文化祭）が和歌山の高校生自身の企画、運営で展開され数々の感動を生みました。苦労は多かったと思いますが、こういう機会にめぐり合わせた若者はつくづく幸せだなと思います。

人口は少々減りつつあるとはいえ、和歌山でも若者はどんどん生まれ、成長しています。上記のような機会に主役として直接参加できなかった諸君も、何がしかの経験と見聞と感動を得たはずであります。

教育と文化とスポーツがうまくいっているのは、地域づくりの理想だと私は思っていますが、特に若者を立派に育てる教育（行政）には特段の努力をしてみました。

学力をつけるために教え方の研鑽^{けんさん}をし、授業についていけなくなった子を個別補習で支え、様々な工夫で体力を向上させ、道徳教育と郷土教育を施し、いじめや不登校を解決する工夫をし、学校と地域が力を合わせるコミュニティスクールを整備し…と様々な取組をしまいましたが、オリンピックや総文祭を見ていると、中高生諸君に大いなる刺激を与えることも大事だなと思います。

ロケットが串本に来る、それなら宇宙に関心を持つ様々な機会を作ろう。アジア・オセアニア高校生フォーラムを機に外国語や海外に関心を持ってもらおう。ジオパーク探偵団に入ってもらって、地球の成り立ちや紀伊半島の魅力に関心を持ってもらおう。読書も大事だし、自然に興味を持って関心分野の研究をするのも大事だから、全県的にコンクールをして優秀者を讃えよう…。このように子供達に刺激を与える様々な工夫をしてその関心を高め、彼らの未来を大きくしていくのが我々行政の務めです。

和歌山県知事 仁坂吉伸



7/21 記者会見にて

●「紀の国わかやま文化祭 2021」の開会式及び閉会式の特別出演者が決定しました

このたび、令和3年10月30日から11月21日まで開催される「紀の国わかやま文化祭 2021」の開会式及び閉会式を、県民の皆さんとともに盛り上げていただく特別出演者が決定しました。

開会式では、「プロローグ」に歌舞伎役者の尾上菊之助さんが登場し、祝賀舞として和歌山ゆかりの歌舞伎演目「道成寺より 鐘ヶ岬」を披露した後、元体操選手で2012年ロンドンオリンピック日本代表の田中理恵さんと高松良誠アナウンサーが総合司会を務める「式典」を行います。

目玉プログラムとなる「フェスティバル」では、和歌山の自然を巡りながら文化に触れる“旅”を通じて、大会のキャッチフレーズでもある「山青し 海青し 文化は輝く」の源を探る壮大な物語を表現します。「フェスティバル」には、歌手の坂本冬美さんをはじめとする和歌山県ゆかりの方々が出演し、「紀の国の自然や先人たちのように、わかやまの文化を輝かせ、わかやまの人を輝かせよう」というメッセージを伝えます。

また閉会式では、和歌山市で400年にわたり受け継がれてきた和歌祭の演目が披露されるほか、「グランドフィナーレ」では、特別支援学校の生徒の皆さんによるよさこい踊りや県内ミュージシャン、児童合唱団、手話コーラスの皆さんによる合唱などが予定されており、障害のある方もない方も協力してステージを彩ります。

県では、現在、9月10日まで開会式及び閉会式の観覧者の募集を行っています。各会場では新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底した上で、和歌山県の文化の魅力があふれるプログラムを展開する予定ですので、一般観覧に御応募いただき、是非会場にお越しください。

＜「紀の国わかやま文化祭 2021」の開会式及び閉会式の観覧者募集概要＞

【募集期限】

令和3年9月10日(金) 必着

【応募方法】

ウェブサイト又はハガキ ※申込方法の詳細は、下記ウェブサイトを御確認ください。

【募集人数】

開会式：500名程度 閉会式：450名程度

【結果発表】

開会式：9月下旬 閉会式：10月下旬

※入場券の発送をもって当選発表にかえさせていただきます。

(応募者多数の場合は抽選となります。)

＜応募フォームはこちら＞

詳細は、「紀の国わかやま文化祭 2021」のホームページを御確認ください。

URL：<https://kinokuni-bunkasai2021.jp/topics/e5460/>



開会式 特別出演者一覧

* プログラム別に50音順で掲載。敬称略

【プロローグ】尾上 菊之助
 出身:東京都
 七代目尾上菊五郎の長男
 1992年には、祖父・父とともに『京鹿子娘三人道成寺』を踊る。1996年、五代目尾上菊之助を襲名。近年、女方の大役をつとめるとともに、立役にも意欲的に取り組む。



【式典 総合司会】高松 良誠
 出身:和歌山県紀の川市
 1983年、テレビ和歌山入社
 20年間に在籍し、退社後はフリーアナウンサーとして活動
 癒し系の優しい声と的確なナレーションに定評があり、野球等のスポーツ実況など、多くのTV・ラジオ・CM等に出演



【式典 総合司会】田中 理恵
 出身:和歌山県
 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会理事
 2010年、世界選手権でロンドン・エレガンス賞受賞。ロンドン五輪では、兄・和仁、弟・佑典と3兄弟で出場を果たす。引退後、TVやイベントに出演



【式典 国歌独唱】斉藤 言子
 出身:和歌山県和歌山市
 数々の国際コンクールで上位入賞歴を持つソプラノ歌手
 前神戸女学院大学学長
 2021年より、同大学名誉教授。和歌山県文化功労賞、和歌山市文化賞など、受賞歴多数



【式典 開会宣言】ウインズ平阪
 出身:和歌山県橋本市
 1986年のデビュー以来、地元和歌山を拠点に活動。50社以上のCMソングを手掛ける。紀の国わかやま国体イメージソング作詞作曲。和歌山県文化奨励賞を受賞
 ※ 閉会式にも出演



【式典 開会宣言】中瀬 朱
 出身:和歌山県海南市
 生まれつき脊椎に障害があり足に麻痺がある。社会人になってから「車いすダンス」と出会い、風を切って踊れる感覚に魅了され、全国大会で優勝。世界大会では入賞した。
 ※ フェスティバルにも出演



【フェスティバル】天翔 りいら
 出身:大阪府
 2008年、宝塚歌劇団入団
 退団後は舞台を中心に活動
 TVドラマにも出演。2013年には、和歌山県議会の議場で国歌独唱を披露。「紀の国わかやま国体・大会」、「ねんりんピック」にも出演



【フェスティバル】上野山 英里
 出身:和歌山県和歌山市
 ピアニスト・作曲家。インターナショナルエレクトーンコンクール・ポピュラー部門第1位受賞。相愛大学音楽学部卒
 国内外で多岐に渡って活動
 2枚のリーダーアルバムをリリース。他様々な作品に参加



【フェスティバル】大家 一将
 出身:和歌山県橋本市
 高野口中学校吹奏楽部で打楽器に出会う。東京藝術大学音楽学部打楽器科卒業。演奏ジャンルはクラシックに限らず、映画・TV・CM・ラジオ・アニメ・ゲームなど、その活動は多岐に渡る。



【フェスティバル】木乃下 真市
 出身:和歌山県和歌山市
 3歳より父親から三味線と民謡を習う。1986、87年津軽三味線全国大会2年連続優勝。2019年和歌山市文化功労賞受賞。津軽三味線木乃下流 家元。津軽三味線世界大会 審査委員長



【フェスティバル】坂本 冬美
 出身:和歌山県上富田町
 1987年に『あばれ太鼓』でデビュー以来、数々のヒット曲をリリース。2008年「県ふるさと大使」就任。「全国植樹祭」、「紀の国わかやま国体・大会」など、故郷である和歌山県の大規模イベントに多数出演



【フェスティバル】澤 和樹
 出身:和歌山県和歌山市
 東京藝術大学学長。日本を代表するヴァイオリニストとして、国際的な活躍を続ける。2005年、和歌山県文化賞受賞。「きのくに音楽祭」の総監督を務めるなど、和歌山県の音楽の発展に尽力



【フェスティバル】嶋本 龍
 出身:和歌山県湯浅町
 全国でも稀な和太鼓ソリストとして国内外を問わず活動中
 でも大太鼓一人打ちは、繊細かつ力強い音色で人々を魅了し、2012年には『世界和太鼓一人打ちコンテスト』で最優秀賞を受賞



【フェスティバル】辻本 好美
 出身:和歌山県橋本市
 東京藝術大学音楽学部邦楽科尺八専攻卒業
 2016年に「Bamboo Flute Orchestra」で、初の女性ソロ尺八奏者として、メジャーデビュー。2020年、和歌山県文化奨励賞受賞



【フェスティバル】西 陽子
 出身:和歌山県和歌山市
 東京藝術大学邦楽科卒業と同時に、皇居内桃華楽堂で御前演奏。ソリストとして国内外で演奏活動を行う一方、和歌山での教授活動を継続している。自由な発想で箏の魅力が多面的に発信



開会式の概要(予定) 期日:令和3年10月30日(土) 会場:和歌山ビッグホール

展開概要

【プロローグ】文化祭の開幕を祝う歌舞伎プログラム

祝賀舞「道成寺より 鐘ヶ岬」 尾上 菊之助氏による和歌山ゆかりの歌舞伎演目の披露

【式典】厳粛さの中にも温かさが感じられるセレモニープログラム

総合司会者

高松 良誠氏と田中 理恵氏による司会進行

国歌独唱

斉藤 言子氏による国歌独唱

開会宣言

ウインズ平阪氏と中瀬 朱氏による開会宣言

【フェスティバル】開会式のハイライトとなる目玉プログラム

和歌山の自然を巡りながら文化に触れる“旅”を通じて、「山青し 海青し 文化は輝く」の源を探す物語
『紀の国の自然や先人たちのように、わかやまの文化を輝かせ、わかやまの人を輝かせよう』というメッセージを伝えます。

第1章「八咫鳥とコガラス～旅立ち～」

バイオリン演奏に合わせた熊野の映像で物語をスタートし、観客の心を掴みます。その後、那智の滝のシーンに移ると、導きの神である八咫鳥とコガラスが登場し、神秘的な舞を披露します。

第2章「山青し～祈り～」

和歌山の文化に触れる“旅”が始まります。山では、声明とともに高野山の歴史や空海を紹介し、その後、紀の川から和歌浦の里へ至るシーンでは、山・川・里にちなんだ3曲を合唱します。

第3章「海青し～挑戦～」

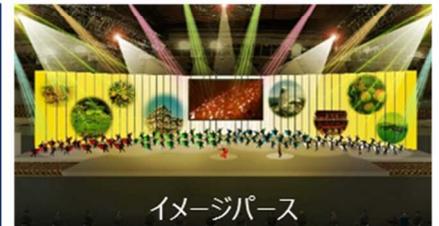
海では、短歌を交えながら和歌浦を紹介し、邦・洋楽合奏を始めます。1曲目は晴れやかな曲調で和歌浦の海を、2曲目は激しい曲調で黒潮の海を演奏し、荒波を乗り越える様を表現します。

第4章「文化は輝く～人は輝く～」

“旅”の原点・熊野の御燈祭をモチーフにしたミュージカルを披露します。冒頭の和太鼓に続き、歌や芝居で自然への感謝を表現していると、火の鳥が登場し、文化が輝くとは人が輝くことだと伝えます。

エンディング「みんなのうた～未来～」

坂本冬美氏が登場し、文化のチカラで困難を乗り越えていく力強いメッセージを発信したあと、和の曲を独唱します。その後、文化祭の開幕を告げる未来の歌を合唱し、フィナーレを迎えます。



イメージパース

【エピローグ】県主催事業の予告編を放映する映像プログラム

県主催事業の予告編映像

国文祭・障文祭に係る各事業の紹介映像

一般出演団体

* フェスティバル出演団体について、50音順で掲載

アヤコミリフルールバレエスクール、県立きのかわ支援学校高等部和太鼓部、県立桐蔭高等学校箏曲部、高野山真言宗 総本山金剛峯寺、Sundy'sわかやまCheerleaders、WMO新体操クラブ、りら創造芸術高等学校、和歌山児童合唱団、和歌山バトン

閉会式 特別出演者一覧

* プログラム別に50音順で掲載。敬称略

【式典 総合司会】 笠野 衣美
出身:和歌山県海南市
 テレビ宮崎・テレビ和歌山の局アナを経て、フリーアナウンサーとして活動。聞き取りやすくスムーズなナレーションに定評がある。全国規模の式典の司会を務め、多くのTV・ラジオに出演するなど、多岐にわたり活躍中



【グランドフィナーレ】 singer SAYAKA
出身:和歌山県和歌山市
 アップテンポな曲からバラードまで歌い上げ、自身の全楽曲を作詞する女性ソロシンガー。地元和歌山をこよなく愛し、県内イベントに積極的に出演するなど活躍中。文化祭をPRする「広報キャバン隊」メンバー



【グランドフィナーレ】 田頭 宜和
出身:和歌山県紀の川市
 和歌山在住のピアノ弾き語りシンガーソングライター。甘く切ない歌声で繊細に、そして時には力強く表現する。地元和歌山で意欲的にライブ活動を展開中。文化祭をPRする「広報キャバン隊」メンバー



【グランドフィナーレ】 藪下 将人
出身:和歌山県由良町
 2009年、河島英五音楽賞最優秀作品賞受賞。2011年、由良町文化奨励賞受賞。CMソングなどを数多く手がけ、またTVやラジオのレギュラー番組を持ち、多方面で活躍中。文化祭をPRする「広報キャバン隊」メンバー



【グランドフィナーレ】 優月
出身:和歌山県和歌山市
 和歌山初のご当地アイドルFunxFamのボーカルとして2015年、メジャーデビュー。現在、ソロ歌手として活躍中。ウインズ平阪のサポートメンバーとして「ねんりんピック紀の国わかやま2019」テーマソング「あしたへと」にも参加




閉会式の概要(予定) 期日:令和3年11月21日(日) 会場:和歌山県民文化会館

展開概要

【 オープニング 】 式典前に会場の雰囲気盛り上げるプログラム

和歌祭 400年にわたり受け継がれてきた**和歌祭**の演目披露
 (出演:和歌祭保存会、和歌祭四百年式年大祭実行委員会、和歌祭実行委員会)

【 式典 】 次期開催県に文化祭旗を引継ぐセレモニープログラム

総合司会者 **笠野 衣美氏**による司会進行

国民文化祭旗の引継ぎ 和歌山県から沖縄県に**国民文化祭旗**を引継ぎ

【 次期開催県アトラクション 】 沖縄県による開催PRプログラム

【 グランドフィナーレ 】 閉会式のハイライトとなる目玉プログラム

紀の国わかやま文化祭の意義と成果を再確認するとともに、**未来に向けた決意を発信する**ストーリー。国文祭・障文祭の一体開催を象徴するように、**障害のある人もない人も協力して**ステージを彩ります。

<p>第1章「喜び」</p> <p>暗闇の中に照らし出されたほら貝・尺八奏者の演奏が会場を包みます。その後、文化祭が喜びと感動の中でフィナーレを迎えたことを伝え、威勢のよいかげ声とともに太鼓の演奏を披露します。</p>	<p>第2章「情熱」</p> <p>和歌山の文化を情熱をもって発展させていくことを伝えた後、歌手とよさこい演者が登場します。歌手の歌唱に合わせて、特別支援学校の生徒たちが、力強いよさこい踊りを展開します。</p>	<p>第3章「輝く未来へ」</p> <p>和歌山の文化がこれからも、県民に笑顔の花を咲かせ、和歌山の未来を輝かせていく想いを、県内ミュージシャン、児童合唱団の合唱、手話コーラスの手話に乗せて発信し、文化祭を締め括ります。</p>
--	---	---

一般出演団体

* グランドフィナーレ出演団体について、50音順で掲載

黒潮躍虎太鼓保存会、県立紀伊コスモス支援学校高等部、興国寺普化尺八道場法燈会、TEAM SIGN、ほら貝奏者、和歌山児童合唱団

●「宇宙シンポジウム in 串本」及び「『缶サット』イベント」を開催しました

串本町では、スペースワン株式会社による国内初の民間ロケット発射場「スペースポート紀伊」の工事が間もなく終了し、今後、必要となる設備の搬入や各種試験が行われることとなっています。先般、ロケットの機体名称が「カイロス」と発表されるなど、初打ち上げに向けた準備が着々と進んでおります。



宇宙シンポジウム in 串本の様子

そのような中、県では、宇宙の魅力やロケット・人工衛星の可能性、そして串本町にロケット発射場ができる意義を多くの方に知っていただくため、7月24日に「宇宙シンポジウム in 串本」を開催しました。3回目の開催となる今回は、第1回からシンポジウムに御登壇いただいている東京大学大学院教授の中須賀真一さんをはじめ、各宇宙分野において日本を代表する方々に御登壇いただき、講演やパネルディスカッションを行っていただきました。

また、シンポジウム前日には、中須賀さんに御協力いただき、超小型模擬人工衛星、所謂「缶サット」の中学生向けの体験イベントを串本町で初めて開催し、県内の子供たちに多数参加いただきました。



「缶サット」イベントの様子

参加者の募集を開始したところ、両イベントともすぐに定員に達してしまうなど、県民の皆さんの宇宙、ロケットへの関心は高まってきております。

こうした取組に加え、県ではロケット打上げ見学者の誘客、想定される渋滞への対策に関する検討を地元関係者とともに進めており、ロケットの初打ち上げに向けて、着実に準備を進めてまいります。

<「宇宙シンポジウム in 串本」に御登壇いただいた方々>

東京大学大学院教授 中須賀 真一 氏

スペースワン株式会社最高顧問・日本宇宙少年団専務理事 遠藤 守 氏

宇宙飛行士 山崎 直子 氏

JAXAはやぶさ2プロジェクトマネージャー 津田 雄一 氏

三菱電機株式会社主席技監 小山 浩 氏

●「デジタル化推進シンポジウム」を開催しました

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う往来の自粛等により、WEB会議やリモートワークといった「デジタル化」はあらゆる分野において急速な広がりを見せています。

県では、県内事業者におけるデジタル技術を活用したビジネスモデルへの変革による生産性向上を促進するため、7月8日に「デジタル化推進シンポジウム」を開催しました。



講演する富山和彦さん

本シンポジウムでは、数々の事業再生に携わってこられた株式会社日本共創プラットフォーム(JPiX) 代表取締役社長の富山和彦さんに基調講演をしていただき、「GDPの約70%を占める地域密着型企業の生産性を上げることが日本経済再生のカギ。自らの事業やビジネスモデルが社会でどのような位置にあるかを正しく理解することが大事である。そして、今は便利なデジタル技術がアプリとして安価で手に入る時代。次々と使って地道な経営改善を積み重ねた先に企業の成長がある」とお話いただきました。

さらに、企業経営者によるパネルディスカッションを行い、県内事業者で先進的な取組をされている株式会社サイバーリンクス代表取締役社長の村上恒夫さんと株式会社インテリックス代表取締役社長の木村明人さんからは、リモートワーク等の推進に係る取組事例を交え、地方企業におけるデジタル技術を生かした生産性向上の重要性についてお話いただきました。



先進的な取組について紹介いただきました

また、日本IBMデジタルサービス株式会社代表取締役社長の井上裕美さんからは、「リモートワークが進み、地方であっても首都圏と同じ労働環境が整いつつある。様々な良い技術を素早く取り入れ失敗を恐れず実践し、企業を越えて繋がりあうことが地域活性化にもつながる」とのお話がありました。

県では、今後もコロナ後の世界を見据え、さらに県内事業者のデジタル化を推進するとともに、市町村と連携して行政サービスのデジタル化についても取り組んでまいります。

●「稲むらの火の館」前に物産販売・飲食施設「道あかり」が開館しました

7月18日、広川町の「稲むらの火の館」前に、物産販売・飲食施設「道あかり」が開館しました。1階には物産販売スペースやカフェがあり、2階には84人を収容できるレストランが整備されています。



施設名である「道あかり」は、広川町民の皆さんに募集し、決定したもので、「稲むらの火」のように、広川町の未来を明るく照らしてくれることを願う思いが込められています。

平成30年5月、地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化や伝統を語るストーリーである「日本遺産」に、『百世(ひやくせい)の安堵(あんど)』～津波と復興の記憶が生きる広川の防災遺産～が認定されたこともあり、広川町には、濱口梧陵の功績や防災に関心を寄せる多くの方々が、全国から学びに訪れております。特に「稲むらの火の館」は、広川町の集客拠点となっています。

そうした中、「稲むらの火の館」前に、新たなスポットとして、地元の農産物や特産品の販売と食事を提供する本施設が開館することは、観光客の消費機会の拡大と地場産業の振興につながります。

さらに、広川町では平成19年にスーパーが撤退しており、これまで広川町の方が、同規模の店舗で買い物をするには湯浅町まで出向く必要があったため、本施設は所謂「買い物弱者」対策としても大きな役割を果たすことが期待されています。

開館日に行われた竣工式では、二階俊博自由民主党幹事長が出席し、「是非『道あかり』を活用していただき、地元の皆さんの力を合わせて地域を盛り上げていただきたい」と挨拶しました。

今後、多くの観光客に本施設を訪れていただくとともに、地域住民の皆さんにも活用していただき、本施設を中心とした地域活性化につながることを大いに期待いたします。



竣工式の様子

●令和3年度和歌山県緑化功労賞表彰式を開催しました

県では、第62回全国植樹祭を契機に、「和歌山の森林及び樹木を守り育てる条例」を制定し、県民の森林及び樹木を守り、又は育てることに関する意識の高揚及び行動の促進を図ることを目的として、森林及び樹木の保全・育成に関して優れた活動を行った方又は団体を表彰しています。

令和3年度は、下記の3団体が受賞され、7月13日に表彰式を行いました。

受賞者の方々の献身的な活動に深く感謝するとともに、受賞者の方々の活動が波及し、県内各地で同様の活動が活発になることを期待いたします。

受賞団体名	受賞理由
<p>森林教育・研究部門 紀中森林組合（日高郡日高川町） 代表者：中家 哲 氏</p> 	<p>小中学生を対象とした森林体験学習に積極的に取り組み、過去7年間で延べ105校3,732名の児童、生徒に森林学習や間伐の現地体験指導による普及啓発を行っている。</p> <p>また、「企業の森」事業の開始当初から活動のサポートに取り組み、県内で最初の参画団体であるユニチカユニオン労働組合をはじめ、現在まで16の企業、団体と約24haの森林保全活動（参加延べ人数約7,000名）の支援を行っていることが高く評価された。</p>
<p>地域活動部門 加太観光協会（和歌山市） 代表者：稲野 雅則 氏</p> 	<p>平成18年度から和歌山市森林公園で「世界一のアジサイ園」を目指し、協会員が自ら育てたアジサイ苗木の植樹や一般市民の参加を募った植樹祭を毎年実施し、現在13種類、約8,000株のアジサイ園となっている。</p> <p>また、令和元年度には「和歌山市ふるさと観光大使」であるL'Arc~en~CielのHYDE氏がアジサイを植樹し、広く情報発信したことから、開花の時期を中心に京阪神からもアジサイ園と和歌山市森林公園を訪れる方が増加している。市民が自然を楽しむ機会を増やし、良好な景観を形成する自主的な取組を促進することに貢献したことが高く評価された。</p>

受賞団体名	受賞理由
<p>社会貢献部門 わかやま市民生活協同組合 (和歌山市) 代表者：高垣 幸代 氏</p> 	<p>組合員と職員による社会貢献活動の一環として、古座川町をフィールドに平成 20 年 4 月から「企業の森」活動を開始し、県内各地の生協組合員とその家族等が広葉樹の植栽や下刈りなどの育林体験、木工体験などの森林学習を行ってきた。</p> <p>また、古座川町の豊かな自然環境を活かした体験活動（カヌー体験やジャムづくり）にも積極的に取り組み、地元からは子供たちも含めた元気な取組を歓迎する声上がるなど地域との一体的な活動となっている。</p> <p>本活動は、「持続可能な開発目標」(SDGs)への取組の一つとして、平成 27 年 11 月に日高川町愛川地区、平成 31 年 4 月には新宮市檜山地区に活動範囲を広げ、活動当初から延べ約 750 名の参加者が自然や森林に親しむなど、人々の生活と森林や環境との関係に関する理解と関心を深める活動が高く評価された。</p>

● 「匠の技 伝道師」を認定しました

県では、農業に従事されている方が有する卓越した農業技術を着実に次世代に繋いでいくため、今年度、「匠の技 伝道師」制度を創設しました。認定者が有する技術の継承を希望する方を募集し、研修によりその卓越した技術を受け継いでいただくことで、本県の農業従事者のスキルアップを図ります。初めての認定となる今年度は、7名の方を認定しました。



「匠の技 伝道師」として認定された皆さん

今後は、地域ごとに認定者による講演会や座談会等を開催した後、研修受講を希望する方とのマッチングを行います。

農業従事者の方がスキルアップをすることにより、農業の生産性が向上し、収益が増え、農業経営の強化につながります。県では、引き続き、本県農業の維持・発展のため、本取組を進めてまいります。

「匠の技 伝道師」認定者一覧

氏名	市町村	品目	技術等の概要
橋詰 孝	海南市	温州みかん	剪定による調整や枝吊りによって摘果をしないことで、地域の平均を上回る収穫量を実現
山本 博	紀の川市	トマト(施設)	農薬や化学肥料を使用しない有機農業を20年以上継続
中谷 裕一	九度山町	柿	富有柿の最高級品「夢」、「希」クラスの高糖度かつ大玉である完熟柿の生産
佐原 洋一	有田市	温州みかん	「ゆら早生」で「マルチ被覆+ドリップかん水方式」による栽培方法を現場導入した第一人者
山本 茂	みなべ町	うめ	剪定、肥培管理、受粉対策により毎年の安定生産を実現
志波 元昭	田辺市	温州みかん 不知火	剪定による調整により毎年の安定生産を実現 不知火の越冬完熟ブランド「木熟301」の安定生産を実現
塩崎 一男	那智勝浦町	たかな	かき葉の長期収穫栽培で1,000㎡あたり8tの生産を実現

※敬称略

＜認定要件＞

卓越した農業技術を有し、県内継承希望者へ技術伝承する意思がある方

(卓越した農業技術を有する例)

- 地域水準を上回る収穫量や販売単価を実現
- 高品質な農産物の安定生産を実現
- 新技術を地域で先駆的に導入 など

●「地域の宝 『なんたん蜜姫』 復活からはじまる本州最南端地域活性化プロジェクト」が過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業(総務省)に選ばれました

このたび、令和3年度の過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業(総務省)に、本県の「地域の宝『なんたん蜜姫』復活からはじまる本州最南端地域活性化プロジェクト」が採択されました。

この制度は、基幹となる集落とその周辺の集落で構成される「集落ネットワーク圏」において行う生活支援の取組や、地域産業を振興するための「なりわい」を創出する活動等を国が支援するもので、本県が生活圏を単位とした過疎地域再生・活性化支援制度の創設を国に提案し、平成24年度から制度化されたものです。



「なんたん蜜姫」は、串本町で昔から栽培されていたさつまいもの中から、優良なものを選抜したもので、果肉が鮮やかな黄色で、とろりとした食感を持ち、濃厚な甘みが特徴です。「知る人ぞ知る幻のさつまいも」といわれ、需要はありますが、生産者の高齢化と後継者不足により生産量が減少してきており、需要に対して生産が追いついていない状況でした。

本事業では、耕作放棄地を活用した「なんたん蜜姫」の増産、アシストスーツの活用による農作業の省力化や新商品開発（スイーツや芋焼酎等）に取り組むとともに、農業体験等を通じた学生や都市住民等との交流活動を積極的に行うことで、地域経済の活性化と地域の担い手となる人材の確保を図ります。

県では、本事業を活用し、多くの方に「なんたん蜜姫」や串本町の魅力を知っていただくとともに、他の施策と組み合わせることで、地域の担い手となる人材の確保につなげてまいります。

●和歌山県産果実の果汁を使用した「『カラダうれしい』果実&野菜のわかやまスムージー」が発売されました

株式会社ふみこ農園（有田川町）より、和歌山県産果実の果汁を使用した「わかやまスムージー」が発売されました。スムージーは、白桃と白いんげん豆、みかんとにんじん、はっさくとかぼちゃ、キウイフルーツとほうれん草、いちじくととうもろこし、いちごとトマトの6種類があります。

調理なしで召し上がっていただくことができるため、手軽に野菜を採ることができ、和歌山県産果実の果汁の美味しさを味わえる商品となっています。

株式会社ふみこ農園の店舗をはじめ、Amazon、楽天市場、Yahoo!ショッピング、au PAY マーケットでも購入できますので、是非御購入ください。



和歌山県産果実の果汁の美味しさを味わうことができます

● 「みさと天文台」がリニューアルオープンしました

7月7日に紀美野町の「みさと天文台」が、リニューアルオープンしました。

「みさと天文台」は、旧美里町が旧環境庁の「星空の街コンテスト」で「星のきれいな町」に選ばれたことを機に開館した施設で、昨年4月から大規模改修を行ってきました。

星空観賞エリアである「空の庭」に新たに設置された全長45m、幅6mの星空観察専用大型展望デッキからは、これまでより広い視界で星空を見ることができます。

また、新築されたプラネタリウム棟「^{そら}の^{まなびや}学舎」では、従来の2倍である直径8mの投影スクリーンにより、より本物に近い星空を楽しむことができます。

そして、大型望遠鏡のある「星の塔」のベランダには、9台のプロジェクターを設置し、プロジェクションマッピング技術（設計・製作：和歌山大学システム工学部）を応用。「空の庭」全体に星空を投影する仕掛けにより、「星の塔」のベランダから見ると、頭上には北半球の星空、足元には南半球の星空が広がり、まるで宇宙空間を漂っているような感覚を体験することができます。

「みさと天文台」の近くにある「生石高原」でも美しい星空や夜景を楽しむことができます。「星のきれいな町」紀美野町に是非お越しください。



新設されたプラネタリウム



「みさと天文台」からは、美しい星空を楽しむことができます

●ふるさと和歌山応援寄附(ふるさと納税)の案内

ふるさと和歌山応援寄附は、「ふるさとと和歌山を大切にしたい」、「和歌山を応援したい」という思いを具体化するための制度です。これまで多くの御寄附と力強い応援メッセージを数多くいただいております。

県では、ふるさと和歌山応援寄附を「世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』の保全や活用」や「がん対策の充実」などの分野で活用させていただいております。

御寄附につきましては、申出からクレジット決済等までを同時に行うことが可能なふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」、「ふるなび」、「ANAのふるさと納税」を御利用ください。

また、和歌山県外にお住まいで1万円以上の御寄附をいただいた方には、和歌山県優良県産品（プレミアム和歌山）として県が認定した商品のうち、事業者の協力を得て選定した返礼品の中から1品をお選びいただけます。和歌山県が誇る優良県産品（プレミアム和歌山）を是非御堪能ください。

ふるさと和歌山応援寄附についての詳細は、和歌山県のホームページ上の「ふるさと和歌山応援サイト」に掲載しています。

これからも、ふるさと和歌山応援寄附に御協力いただきますよう、お願い申し上げます。

ふるさと和歌山応援サイト(和歌山県へのふるさと納税)

「ふるさと」と聞いてみなさんが想像するものは何でしょう。
和歌山県では、「元気な和歌山」を創造していくため、さまざまな施策の推進に取り組んでいます。
ぜひ、皆様も寄附を通じてふるさと和歌山を応援してください。



各ポータルサイトのQRコードはこちら

ふるさとチョイス



ふるなび



ANAのふるさと納税



***** ふるさと和歌山応援寄附（ふるさと納税）に関しましては *****

★お問合せ・申込窓口★

〒640-8585

和歌山市小松原通一丁目1番地

総務部総務管理局税務課

担当 有本、森本、小弓場

電話 073-441-2186(直通)

FAX 073-423-1192

E-mail: furusato-ouen@pref.wakayama.lg.jp

★お問合せ窓口★

〒102-0093

東京都千代田区平河町2-6-3

都道府県会館12階

和歌山県東京事務所

担当 前

電話 03-5212-9057

FAX 03-5212-9059

●ふるさと和歌山応援寄附を活用して行う県の取組

<p>1 新型コロナウイルス感染症対策【お礼の品なし】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の対策をすすめます。</p> 	<p>8 地元企業への就職を促進する奨学金返還支援</p> <p>和歌山の経済を牽引する製造業や情報通信業の将来の担い手となる人材の確保を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 理系の大学生等を対象に県内の製造業や情報通信業などの業務を行う企業に就職し、3年勤務した場合、奨学金の返還を最大100万円支援します。 
<p>2 生涯スポーツ・文化の振興</p> <p>全国規模の大会の開催を通じて、生涯スポーツの振興と文化力の向上を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ワールドマスターズゲームズ2021関西 国民文化祭 全国障害者芸術・文化祭 全国高等学校総合文化祭 <p>各大会等の開催をすすめます。</p> 	<p>9 学校図書館や県立図書館の蔵書の充実</p> <p>和歌山の未来を担う子供の育成や県民の読書文化の向上のため、学校図書館や県立図書館の蔵書の整備をすすめます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 県立学校の図書館の蔵書の充実をすすめます。 県立図書館の蔵書の充実をすすめます。 
<p>3 子供たちの教育環境の充実【お礼の品なし】</p> <p>各学校において、「学習環境の充実」、「特色ある学校づくり」などをすすめます。</p> <p>母校など寄附をしたい高等学校（私立も含む）や特別支援学校があれば指定することができます。</p> 	<p>10 わかやまの美しい海づくり</p> <p>黒潮の恵みを受ける和歌山は、リアス式の美しい風景に彩られた約652kmにも及ぶ長い海岸線と数多くの海水浴場を有しています。ふるさとの海を守り、より美しくして海のレクリエーションを盛んにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 白良浜海水浴場 片男波海水浴場 <p>などの砂浜の整地をすすめます。</p> 
<p>4 がん対策の充実</p> <p>和歌山はがんで亡くなられる方が多い県です。がんになっても安心して治療が受けられ、自分らしく生きることができるよう支援制度を充実していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 所得等が一定以下のがん患者の方に対して、先進医療の一部を補助します。 若年がん患者の方に対して、生体機能の温存や療養生活の充実に向けた支援を行います。 	<p>11 わかやまの文化財の保護</p> <p>和歌山県には重要な歴史資産がたくさんあり、全国で国宝は6番目、重要文化財は7番目に多いところです。ふるさとの大切な文化財を保全して未来に伝え、郷土の活性化に寄与します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 湯浅の歴史的なまちなみの修理・修景を支援します。 和歌山市・木ノ本八幡神社本殿の保存修理をすすめます。 
<p>5 犬・猫の殺処分ゼロを目指す活動への支援</p> <p>和歌山県は、犬・猫の殺処分をなくすことを目標に、地域猫活動や新しい飼い主を探す活動に取り組む地域住民やボランティアを支援しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの活動で約3,900匹の野良猫に不妊去勢手術が施され、新しい家族が見つかった犬・猫は約1,600匹います。この支援を継続して、早期に「殺処分ゼロ」を実現します。 	<p>12 大切なふるさとの森を守り育てる</p> <p>和歌山は古くから「木の国」と呼ばれ、県土の77%が森林です。森林は洪水や濁水の緩和、生物多様性の保全、地球温暖化防止と限りない恵みを与えてくれます。かけがえのない森林を守り育て、継承していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 和歌浦地区等の松くい虫防除対策をすすめます。 
<p>6 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全や活用</p> <p>和歌山の世界遺産をかけがえのないふるさとの宝、人類共通の宝として保全・活用し、次世代に継承していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 参詣道の維持管理・パトロールを行います。 世界遺産・周辺地域の風水害等に対する緊急修繕等を行います。 	<p>13 わかやまのナショナル・トラスト</p> <p>和歌山は、みどり豊かな山々と雄大な雄大なリアス式海岸など、かけがえのない自然や歴史的資産を数多く有しています。これらの自然を保全し、次世代に引き継いでいきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 県民の公有財産として未永く保全していくために、自然環境の整備や土地の公有化をすすめます。 
<p>7 南紀熊野ジオパークの推進</p> <p>令和元年7月に完成した「南紀熊野ジオパークセンター」を拠点に、ユネスコ世界ジオパーク認定に向けた取組を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 南紀熊野ジオパークセンターの充実をすすめます。 	<p>※ 充当事業につきましては、状況の変化等により、変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。</p> <p>※ お寄せいただいた寄附金の成果につきましては、「ふるさと和歌山応援サイト」などで報告させていただきます。</p>

●和歌山県誕生150年記念～和歌山県の偉人～

明治4年（1871年）11月22日に現在の和歌山県が誕生してから、今年で150年の節目の年を迎えます。それを記念し、これまでの和歌山県の歴史を振り返ります。今回のテーマは「和歌山県の偉人」です。

濱口梧陵

天保2年（1831年）、本家の千葉県ヤマサ醤油店の養子となり、醤油醸造・販売を引継ぐ。家業を盛り上げる傍ら、佐久間象山に入門し、象山の思想を受け継いだ濱口梧陵は、郷里に戻り深く国の在り方を考えた末、教育、政治、防災などの分野で、我が国の礎ともいふべき多彩な活躍をしました。

濱口梧陵は、広村（現広川町）に崇義団（後に「耐久舎」と呼ばれることとなります。）を起こし、青少年の教育に力を注ぎます。また、全国的なコレラ流行を契機に、焼失していた種痘所（東京大学医学部の前身）の再興に尽力するとともに、医学の発展のために多額の研究費を寄付しました。明治政府の下で初代駅逋頭（後の郵政大臣）に就任。のちに帰郷し、和歌山県議会初代議長を務めるなど、国・県を通じて政治のリーダー的役割を果たしました。



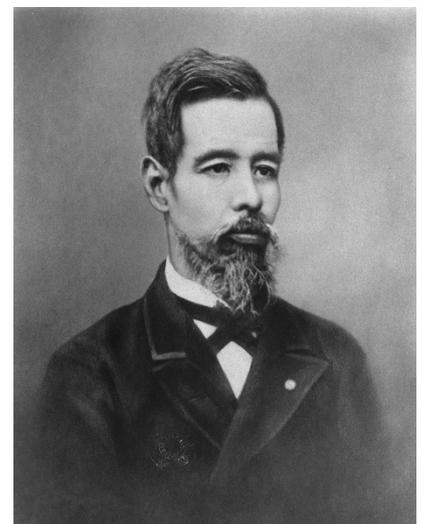
写真提供：広川町

安政元年（1854年）、安政大地震の大津波から広村村民を高台へ導き、多くの命を救ったエピソードは、ラフガディオ・ハーンにより「A Living God」として広く紹介され、のちに小学校の教科書にも採用。多くの人々に感銘と教訓を与えました。

陸奥宗光

紀州藩士・伊達宗広の第6子として誕生。文久2年（1862年）、紀州藩を脱藩。江戸に出て、昌平坂学問所で学び、海軍塾で坂本龍馬と出会いました。のちに海援隊に参加して龍馬の腹心として活躍。龍馬暗殺事件後、政府役人を経て帰藩し、維新直後の和歌山藩の徴兵制創設や財政改革などの藩政改革を津田出とともに推し進め、その手腕を発揮しました。

西南戦争に乗じて政府転覆を謀ったとして投獄されましたが、明治16年（1883年）に出所し外遊後、外交官として活躍しました。



国立国会図書館デジタルコレクション所蔵

陸奥宗光の功績で特に有名なものは、徳川幕府が締結した諸外国との不平等条約の改正です。当時、不平等条約の改正は、我が国の発展のためには是が非でも必要でしたが、困難を極めていました。陸奥宗光は、米国公使として赴任中の明治21年（1888年）、メキシコと我が国最初の対等条約を締結。さらに、第二次伊藤博文内閣では、明治27年（1894年）年に外務大臣として治外法権の撤廃と関税自主権の一部回復を盛り込んだ日英通商航海条約の締結に成功し、日清戦争後の講和条約では、我が国に有利な内容に導いています。

陸奥が没した日、黒田清隆と板垣退助は「君去って我外交をいかにせん」と声を上げて泣いたといわれます。

南方熊楠

南方熊楠は、「和漢三才図絵」を記憶し、帰宅してから書き写すほどの記憶力と、飽くなき知的好奇心を生涯にわたってもっていました。

明治17年（1884年）、東京大学予備門に入学しますが、明治19年（1886年）には留学目的でアメリカに渡り、次いでイギリスに移住。ロンドンでは大英博物館にこもり、稀有な語学力を活かして古今東西の文献を読み漁り、多くの抜き書きノートを残しています。また、世界的権威の科学雑誌「ネイチャー」に多く寄稿し、世界の第一線の学者から賞賛されました。



南方熊楠顕彰館（田辺市）所蔵

ロンドンでは、亡命中の革命家・孫文やのちに高野山管長となる土宜法龍などと親交を結び、生涯の友となります。明治33年（1900年）に帰国し、那智勝浦町の原生林で植物などの採集を行った後、田辺に転居し、生涯を田辺で過ごしました。

なお、政府の政策「神社合祀」に対し、10年にわたる粘り強い反対運動を展開し、廃止にさせています。

昭和4年（1929年）には、昭和天皇の強い御希望により、戦艦「長門」艦上での御進講が実現しました。後に昭和天皇は、御製和歌を詠まれ、熊楠を懐かしんでいます。

<お知らせ> 県では、以下のとおり和歌山県誕生150周年記念式典を開催予定です。

開催日時 令和3年9月25日(土) 12時30分～17時(予定)

会場 和歌山県民文化会館大ホール(和歌山市小松原通1-1)

観覧者募集定員 1,800名 ※観覧者は抽選により決定いたします。

※募集締め切りは、**令和3年8月20日(金)(当日消印有効)**まで

WEBによるライブ配信も予定しています。

詳細は下記特設サイトを御確認下さい。

和歌山県誕生150周年記念特設サイト：<http://wakayama150.telewaka.tv/>

イベント情報(8月下旬～9月中旬)

※掲載の情報は、令和3年7月末時点のものです。
最新の情報には、各主催者へお問い合わせください。

期間	行事名	場所	問い合わせ先
8月24日	千燈籠供養	橋本市・ 子安地藏寺	子安地藏寺 0736-32-1774
9月11日	光三宝荒神社 「献灯祭」	光三宝荒神社境内	光三宝荒神社 0736-32-7484
9月15日	三輪崎八幡神社例大祭 渡御行列 ※今年度は神事のみ催行	三輪崎八幡神社 ほか	熊野速玉大社 0735-22-2533

自然・風物情報(8月下旬～9月中旬)

時期	自然・風物名	場所	問い合わせ先
8月下旬	イチジク出荷最盛期	紀の川市	JA 紀の里農産物流通 センター 0736-73-7200
9月上旬	クエ初入荷	日高町	日高町観光協会 0738-63-3806
9月上旬	あらぎ島で稲刈始まる	有田川町・あらぎ島	有田川町ふるさと開発 公社 0737-25-0221
9月中旬	極早生温州みかん出荷 始まる	有田市、田辺市	JA ありだ 0737-53-2311 JA 紀南 0739-23-3450
9月中旬	モズクガニ漁 始まる	古座川町流域	古座川漁業協同組合 0735-72-3800
9月中旬	わかしらす天日干し	和歌浦漁港	海草振興局農業水産振 興課 073-441-3380
9月中旬	イセエビ漁解禁	串本町・下田原漁港	和歌山東漁業協同組合 下田原支所 0735-74-0131

～編集後記～

長かった梅雨も明け、本格的な暑い夏を迎えていますが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。

今月も「和歌山だより」をご覧くださいありがとうございます。

東京2020オリンピックも開幕し、17日間があっという間に過ぎました。開会式・閉会式や試合で活躍する選手をテレビの前で応援された方も多いのではないのでしょうか。新型コロナウイルス禍の影響で制限が多い中、持てる力を最大限に発揮された選手のみなさんに元気をいただきました。ありがとうございました。8月24日からはパラリンピックも開幕します。引き続き、選手のみなさんに声援を送りたいと思います。

6月号でご案内させていただきました紀の国わかやま総文2021（全国高等学校総合文化祭）も8月6日をもってフィナーレを迎えました。コロナ禍の中、練習や準備にがんばってこられた高校生のみなさんをはじめ多くの方々にさまざまな感動と思い出を残してくれたことと信じています。直接関わってこられたみなさま、いろいろと支援してくださった関係者の方々をはじめすべてのみなさまに感謝申し上げます。

しばらくは暑い日が続くと思います。みなさま、熱中症にはくれぐれもお気をつけいただき、お健やかに過ごしてください。



知事室 秘書課長 西山 雅美

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんでいただけますのでぜひ御覧ください。

和歌山だよりに対する御意見・御感想をお聞かせください。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報を御提供ください。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

（下記のFAX（様式自由）、E-Mail等をお願いします。）

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ <https://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/010500/furusato/>

*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。



2021年（令和3年）8月 NO.160

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2022